



2014年11月7日(金)～

11月20日(木)の活動

○ 第4回 総合対策委員会 女性部会

11月11日(火) 金沢市

平成26年度第4回総合対策委員会 女性部会を開催した。

浅野邦子部会長(株)箔一代表取締役会長)、森田弘美副部会長(株)グループフィリア代表取締役社長)、中山雅美(株)アドレス代表取締役、中宮紀伊子(株)森八取締役女将他、計9名が出席した。

まずは10月の経団連との懇談会における女性活躍推進に関する報告を行った後、9月の第二次安倍改造内閣発足に合わせて民間より抜擢された内閣府大臣官房審議官(男共共同企画局担当)華房実保氏を講師に招き、「女性の活躍推進について」と題した講演が行われた。

華房氏は、ウイメンミクスはアベノミクスの中核として、女性活躍が企業業績、経済成長にいかに関与かを説明し、女性活躍推進に向けた最近の政府等の取組みを紹介。その後、活発な議論が行われた。(担当:前田)

○ 平成26年度第1回 国際交流推進委員会

11月13日(木) 金沢市

金沢都ホテルにて平成26年度第1回国際交流推進委員会と北陸AJEC第47回企画部会を合同開催した。

国際交流推進委員会6名、北陸AJEC企画部会委員23名が出席した。

江守国際交流推進委員長、山村企画部会委員長の両委員長の挨拶後、「平成26年度上期の事業活動」、「第15回北陸(日本)・韓国経済交流会議」、「シンポジウム グローバル化時代の北陸地域・企業の進路と戦略～ASEANとどう向き合っていくか～」について事務局より報告し、各事項について活発な意見交換が行われた。(担当:浅野)

○ 湘南・北陸連携カンファレンス

11月13日(木) 藤沢市

湘南・北陸連携カンファレンスの全体会議を、11月13日に藤沢商工会館で開催した。鎌倉市、小田急百貨店藤沢店が初めて参加し、計18名が参加した。

来年2月のイベントや企画電車では、名称を「北陸伝統工芸セレクション in 湘南」とし、主として北陸の伝統工芸をPRすることを決めた。アドバイザーとして参加の跡見学園女子大学の村上准教授は、「観光施策的にみても地域連携の好事例であり、色々な場で紹介したい。」と最後に総括した。

その後の懇親・交流会では、北陸の地酒で乾杯し、お互いの地域事業の連携や課題等について意見交換した。(担当:吉井)

○ 北陸新幹線合同中央要請

11月17日(月) 東京都

北陸新幹線建設促進同盟会・北陸新幹線建設促進北信越五県議会協議会・当連合会合同による中央要請活動を実施した。当連合会からは永原会長、深山副会長、川田副会長が参加し、富山・石川・福井県知事のほか、長野・新潟・京都・大阪知事の代理、沿線5県議長、関西広域連合、関西経済連合会らとともに自民党谷垣幹事長・稲田政調会長、町村与党整備新幹線PT座長、太田国交大臣、公明党井上幹事長らに、以下の要請を行った。

【要望要旨】

- ① 金沢・敦賀間について、少なくとも3年前倒しし、平成34年度までに開業を図ること。
- ② 北陸新幹線の事業費として、幅広い観点から財源を確保し、整備スキームを直ちに見直すこと。
- ③ 敦賀以西のルート決定に向け調査などを進め、フル規格による整備方針を明確化し、あらゆる手段を尽くして大阪までの早期全通を図ること。
- ④ 沿線の自治体に過度の負担が生じないように、負担に見合う受益の確保を図ること。
- ⑤ 並行在来線が存続できるよう、新たな仕組みを構築するとともに、支援施策の充実を図ること。
- ⑥ 公共事業費の拡充・重点配分、JRからの貸付料の活用など、幅広い観点から財源を確保すること。

(担当:小林)

○ 第4回北陸地域連携プラットフォーム

11月20日(木) 金沢市

北陸三県の経済団体や金融機関等が集まり、北陸地域経済の課題を議論する北陸地域連携プラットフォームの第4回会合が11月20日に開催され、当会の水野専務理事が出席した。

コンパクトシティ形成に取り組む富山市より神田副市長が講師として「富山市におけるコンパクトなまちづくりの進捗と展望」と題した講演があった。講演では様々な施策やその効果等の紹介があり、その後、活発な意見交換を行った。詳細は、下記参照。
<http://hokuriku.mof.go.jp/kouhou/platform.html>
なお、当会HPからもご覧いただけます。

(画面左下にバナーを貼り付けております)(担当:前田)

※ 当連合会では、新規会員を募っております。
会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。
(Tel.076-232-0472)